

# 新広域道路交通計画

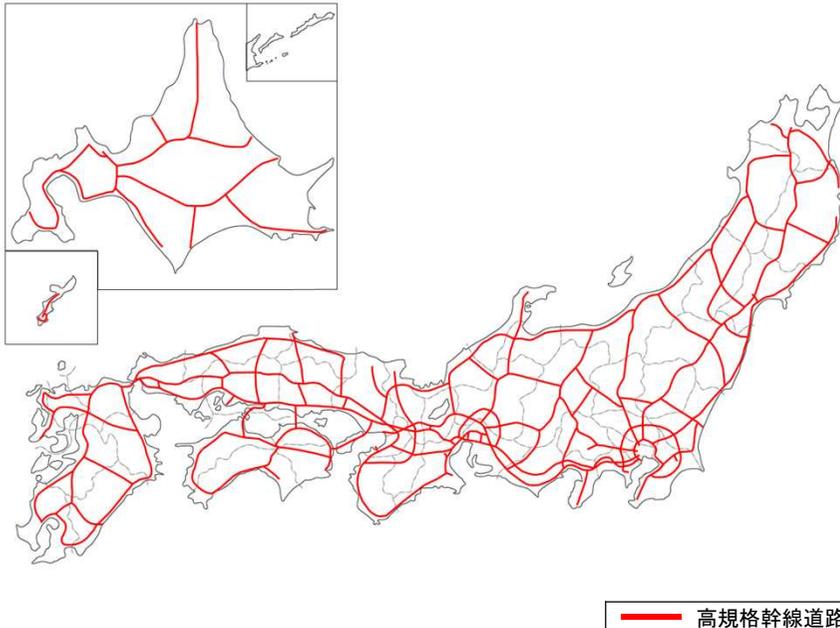
## これまでの道路ネットワーク計画

### 【S62】全国総合開発計画

#### 高規格幹線道路

全国的な自動車交通網を構成する道路で、全国の都市・農村地区から概ね1時間以内で到達し得るネットワークを形成。

### 全国計画 (閣議決定)

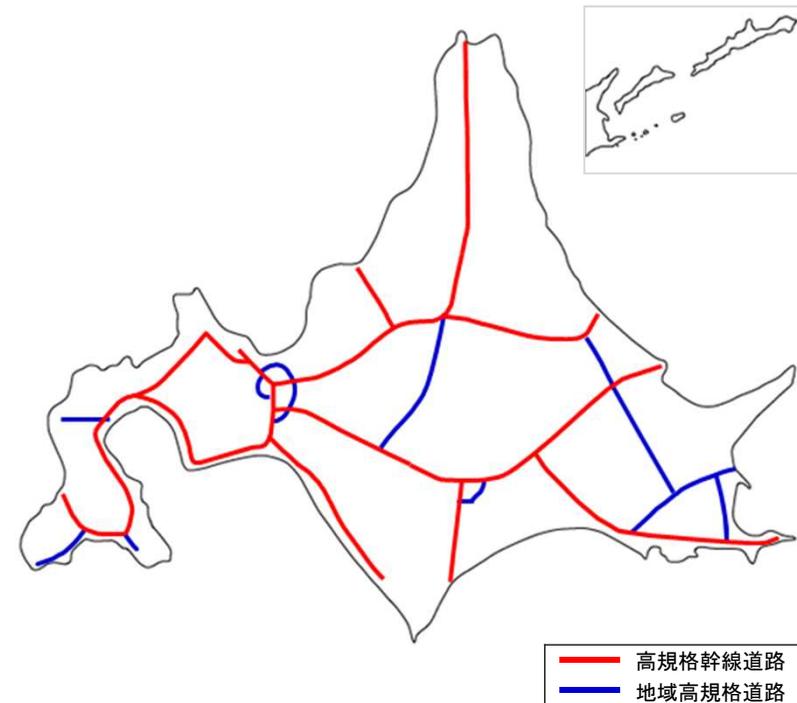


### 【H6(H10見直し)】広域道路整備基本計画

#### 地域高規格道路

地域内連携、地域間交流、拠点への連結といった機能を有し、高規格幹線道路と一体となって地域構造を強化する道路。

### 都道府県・政令市ごとに策定



**計画策定から20年以上経過し、時代に即した計画が必要**

# 新広域道路交通計画の策定(令和3年7月まで)の背景

## 全国的視点

### <国土形成計画>

- 国土の利用、整備及び保全のための総合的・基本的計画(H27閣議決定、概ね10年の計画)
- 対流促進型国土の形成を図るため、国土構造として「コンパクト+ネットワーク」を進める

### <国土強靱化基本計画>

- 国土強靱化に関する施策の推進に関する基本的な計画(H26閣議決定、H30変更)
- 「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土の構築に向けた「国土強靱化」を推進

### 新たな課題や社会的要請

デジタルトランスフォーメーション  
カーボンニュートラル等

## 道路交通を取り巻く主な課題

### 新たな国土構造

人口減少、都市間・地域間での連携強化  
日本海・太平洋2面活用型国土等

### 成長・活力

生産性の向上、人流・物流の円滑化  
海外の成長力の取り込み等

### 安全・安心

自然災害や事故による被害を最小化  
気候変動による災害リスクの増大等

ICT活用、自動運転社会への対応、2050年カーボンニュートラルの実現

反映

国土の将来ビジョンの変化等を踏まえ、  
適時適切に広域道路ネットワーク計画を見直し

## 新広域道路交通計画

都道府県・政令市がビジョン・計画を策定し、これを踏まえて地方整備局等がブロックごとにビジョン・計画を策定(R3.7策定完了)  
広域道路ネットワーク計画では、現状の交通課題や国土・地域の将来ビジョン等を踏まえ、今後20~30年で必要となる道路を位置づけ。

**新広域道路交通ビジョン**：広域的な道路交通に関する今後の方向性・基本方針

● **広域道路ネットワーク計画**

✕ **交通・防災拠点計画**

✕ **ICT交通マネジメント計画**

反映

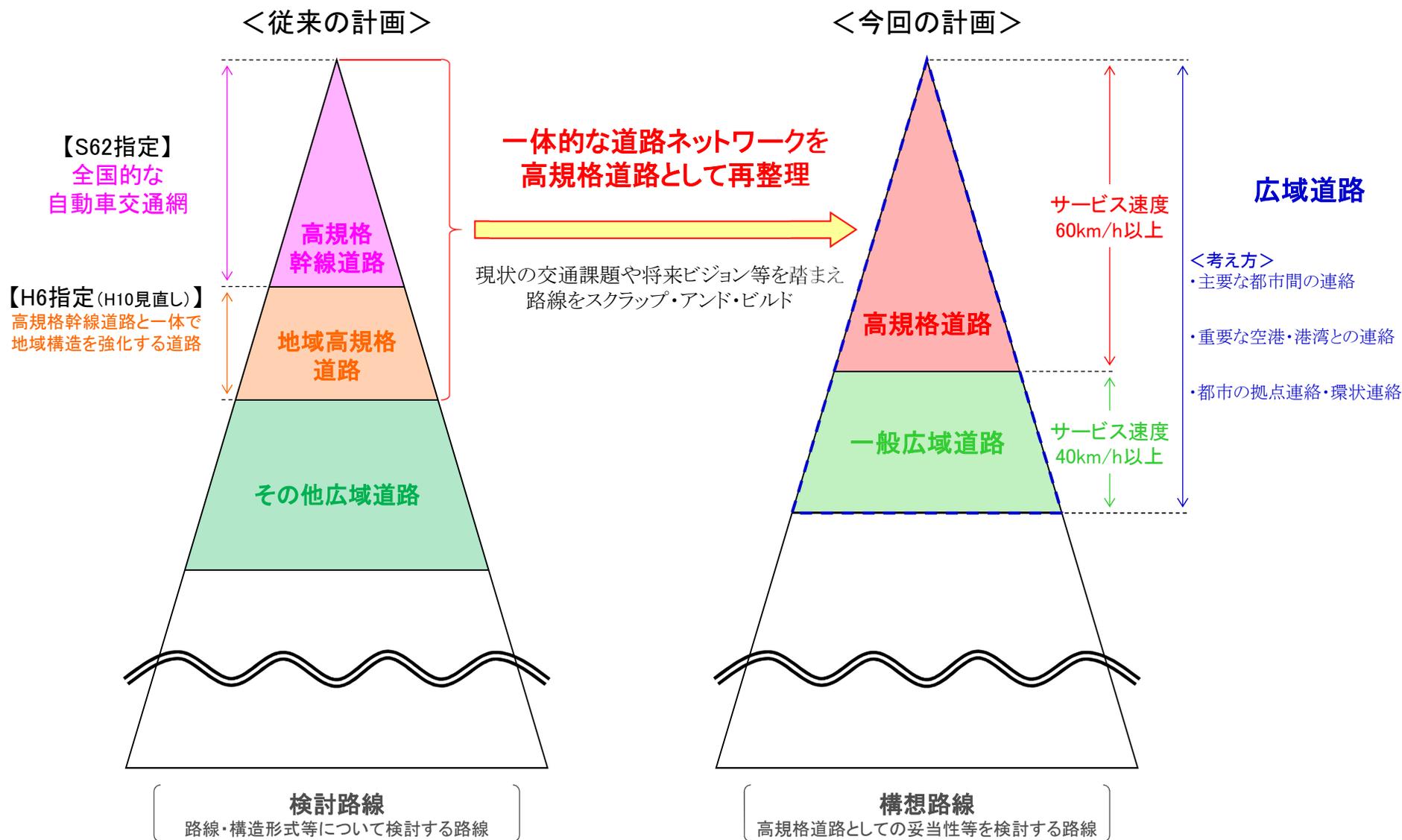
地域の将来ビジョンの変化等を踏まえ、  
適時適切に広域道路ネットワーク計画を見直し

今回の  
議論対象

地域の視点：現状の交通課題や地域の将来ビジョン

# 地方ブロックごとに策定された広域道路ネットワーク計画の概要

- 広域道路として高規格道路と一般広域道路を位置づけ。また、今後必要な検討を進める構想路線を位置づけ。
- 広域道路のうち、高規格幹線道路や地域高規格道路など、より高いサービスが求められる道路を一体的な高規格道路ネットワークとして再整理。



# 各地域ブロックにおける広域道路ネットワークの主な観点

ブロック	基本方針	国土・地域構造上の位置づけ	施策の方針:成長・活力	施策の方針:安全・安心
北海道	<u>骨格となる2大環状と放射軸から広がるネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道型地域構造の保持・形成</li> <li>生産空間、地方部の市街地、圏域中心都市の三層の機能分担と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧供給基地を支える物流ネットワーク</li> <li>世界水準の観光地形成に向けた周遊性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害に備える耐災害性強化と代替性確保</li> </ul>
東北	<u>東北の主軸となる4縦貫7横断格子状ネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>格子状ネットワーク</li> <li>日本海・太平洋の二面活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通拠点へのアクセス強化と広域観光ルートの形成</li> <li>物流ネットワークの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多重性・代替性を持つ道路ネットワーク</li> </ul>
関東	<u>首都圏道路ネットワークとここから全国に広がる環状・放射道路網</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本、世界の成長を支える関東一極集中リスクの軽減</li> <li>日本海・太平洋の二面活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹となる環状・放射状ネットワーク形成</li> <li>ブロック都市間の連絡性の強化</li> <li>空港・港湾等の拠点へのアクセス向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時のリダンダンシー確保</li> </ul>
北陸	<u>新日本海連携軸と三大都市圏・隣県をつなぐネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新日本海連携軸の形成・強化</li> <li>三大都市圏や隣県との連携・交流強化</li> <li>アジア諸国や極東ロシア等とのつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流拠点と高規格道路等の接続強化</li> <li>観光資源を活かした人流ネットワーク強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的なネットワークの多重性・代替性の強化</li> </ul>
中部	<u>中部圏大環状と首都圏・近畿圏・北陸圏への3つの軸</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーメガリージョンのセントラルハブ</li> <li>日本海・太平洋の二面活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック都市圏間等の連絡性強化</li> <li>通過交通の迂回を図る環状連絡機能の強化</li> <li>陸海空のゲートウェイや物流拠点及び生産拠点へのシームレスな国際物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多重性・代替性の確保</li> </ul>
近畿	<u>近畿圏四環状道路と日本海・西日本・太平洋国土軸による交流連携</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本海、西日本、太平洋国土軸による交流・連携</li> <li>日本海・太平洋の二面活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交通拠点とのアクセス強化</li> <li>京阪神都市圏の環状連絡機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ巨大地震に備える多重性や代替性を備えた広域ネットワーク</li> </ul>
中国	<u>3本の東西軸と山陰・山陽を結ぶ格子状ネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分散型地域構造</li> <li>西日本国土軸、日本海国土軸による交流・連携</li> <li>山陰と山陽の対流を促進する格子状ネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心都市間の連絡、交通・物流拠点アクセス、大都市圏の環状機能の強化</li> <li>広域周遊観光促進のためのネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時でも機能する強靱なネットワーク、南海トラフ大地震時等の隣接圏域のバックアップ機能</li> </ul>
四国	<u>四国8の字ネットワークと四国おうぎ(扇)作戦</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州と京阪神を結ぶ第二国土軸の形成</li> <li>日本海・太平洋の二面活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人流・物流の円滑化・安定化に資する四国8の字ネットワークの整備</li> <li>半島地域へのアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に備えたネットワークの多重性・代替性の確保</li> <li>四国おうぎ作戦</li> </ul>
九州	<u>『クロス』から『リング』へ九州リングネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジアの成長力を引き込むゲートウェイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通拠点アクセス強化</li> <li>広域観光周遊ネットワーク</li> <li>国際コンテナ輸送のための道路機能強化</li> <li>半島地域へのアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に強い道路ネットワーク</li> <li>九州東進作戦</li> </ul>
沖縄	<u>南北に走る強固な3本柱と東西連絡によるハシゴ道路ネットワーク</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人流・物流の経由地である那覇空港・那覇港と県内拠点の連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立経済を支えるネットワーク</li> <li>世界水準の観光リゾートにふさわしい交通基盤</li> <li>渋滞がないすべての人に優しいシームレスな交通体系</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に強く早期に機能復旧できるネットワーク</li> </ul>

# 広域道路ネットワーク計画のプロセスについて

## <主体・検討内容>

## <検討体制>

これまで

国土交通  
本省

高規格道路等の基本的要件、計画を策定する上での視点等



都道府県・政令市、地方整備局等へ計画策定を依頼

都道府県  
・  
政令市

広域道路ネットワーク計画を策定 (R3.3.4~7.9策定)  
(都道府県・政令市ごと)



都道府県間の調整

地方  
整備局等

広域道路ネットワーク計画を策定 (R3.3.26~7.21策定)  
(地方ブロックごと)

○ 新たな広域道路ネットワークに関する検討会  
R2.3.24検討会設置 → R2.6.8 とりまとめ公表

○ パブリックコメント、地方議会  
○ 有識者委員会 (地方小委員会など)  
○ 幹線道路協議会 (地方整備局、自治体、高速会社等)



新たな国土形成計画の検討

これから

国土交通  
本省

新たな国土形成計画等の方向性や、地方ブロックごとに策定された広域道路ネットワーク計画を踏まえ、全国的な視点から、高規格道路を中心に、以下を議論

- ・全国的な広域道路ネットワークの現状・課題【今回議題】
- ・高規格道路をはじめとする広域道路ネットワークの必要性・効果、高規格道路の利用促進の取組
- ・高規格道路の手続き

国土幹線道路部会